2021 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 2022 1月 2月 3月

歴史へのいざない
ー佐藤コレクションの魅力ー

無料

2021
4/24(土)~6/6(日)

玩具絵（加藤清正朝鮮攻の図）
（刈谷市中央図書館蔵）

刈谷市の文化財保護行政に携わった佐藤峻吉氏の膨大なコレクションは、現在、刈谷市中央図書館や名古屋市博物館などに寄贈されています。それらの貴重な品々の中から、歴史の面白さや晩年を過ごした刈谷北部の歴史について知ることのできる資料を展示します。

戦時下の刈谷
ー人びとの暮らしと記憶ー

無料

7/17(土)~8/29(日)

震災復旧事務日誌
（刈谷市歴史博物館蔵）

日中戦争から太平洋戦争にかけての時期には、働き手や食料、日用品などが不足し、地震による大きな被害も生じ、人びとの暮らしは大きく変容しました。戦時下の刈谷に生きた人びとがどのような生活を送ったのか、刈谷市内に残された資料を中心に紹介します。

豊臣秀次展

有料

10/9(土)~11/21(日)

豊臣秀次像（部分）
（瑞泉寺蔵・京都市歴史資料館寄託）

豊臣秀次は豊臣秀吉の甥で、秀吉の後に関白になりましたが、最後は謀反の嫌疑をかけられ切腹、妻子のほとんどは秀吉によって殺害されるという悲劇的な最期を遂げます。本展覧会では、秀次の生涯をたどり、誤解されがちな秀次の実像を探ります。また、秀次は刈谷を含む尾張・三河地域を治めており、この地域に与えた影響についても紹介します。